

「認知症」世界的課題に

国際アルツハイマー病協会国際会議 78カ国 4000人集う



シンポジウムで登壇した演者たち



ブライデンさんと丹野さん

した

が運営や発表に積極的に
関与するのが特徴。今回
は過去最多の約200人
に上った。

最終日の分科会で発表
したオーストリアのクリー
スティーン・ブライデン
さん(68)は、政府高官だっ
た46歳の時、アルツハイ
マ病だと診断された。
認知症患者本人が語ること
の重要性を訴えてきた当事
者のひとりで、4年の会
議でも講演している。

今回は「日本の変化」
外からの視点と題して講
演(前回は翻訳者に痴ほ
う老人ではなく認知症の
人と話してほしいと要望
した)などと振り返った。

「その後、来日するたび
に交流してきた認知症の
人や介護者の姿に大き
な変化を感じる」と話し
たブライデンさん。日本
は認知症患者に優しい地域
社会を作る世界の主導的
立場に在れるはず」と期
待を込めた。

同じ分科会では、4年
前39歳で若年性認知症と
診断され、会社勤務を続け
ながら認知症の人たちか
らの相談にも応じている
丹野智文さん(43)・仙台
市でも発表した。

「認知症は人生の終わ
りだと考え、泣き暮らし
た時期もあった」と振り
返った丹野さんは、「職場に
病気を伝え、営業職から事
業を奪った」と語った。

会場となった国立京都国際会館

会場

患者の権利 オンブズマンが解散

「患者と医療者の橋渡し役」
18年間の活動終える

市民と医療・福祉・法律などの専門家が協働して、患者の苦情解決支援に取り組んできたNPO法人患者の権利オンブズマンが、5月31日をもって解散する。同オンブズマンは、重大な医療事故の多発を背景に、1999年故・池永満弁護士を中心にして設立。患者とその家族の思いの受け皿として、面接相談を同行支援などを通じて、患者と医療者の橋渡し役をつづけてきた。

(関連記事4面)

4月20日号19面に掲載した「医療法人社団静岡メディカルアライアンス下田メドカルセンター・畠山淳一病院」インタビュー記事内で、誤ったロゴマークを掲載してしまいました。訂正し、関係各位に謹んでお詫び申し上げます。

SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE
医療法人社団 静岡メディカルアライアンス

お詫びと訂正

当事者も発信「理解と優しい地域社会づくりのきっかけに」

同会議は、認知症当事者が運営や発表に積極的に関与するのが特徴。今回は過去最多の約200人以上った。国内開催は、2004年の京都開催以来、13年ぶり。アジア諸国、アフリカ、南米など過去最多の78カ国から約4000人が集まつた。(関連記事6面・7面)

今月のテーマは
「医師不足・偏在」

2面に連記事を掲載。



2017年(平成29年)

5/20

毎月1回発行
(1部1,350円・税込)
年間購読16,200円
(送料税込)

発行 株式会社 東海医事新報社

〒812-0008 福岡市博多区東光1-3-8-2F
☎092-432-0001 FAX092-432-0011
<http://k-ijishinpo.jp/> E-mail:info@k-ijishinpo.jp

- ニュースレターが来た 2・9・10・12・17面
- 夫は産後の妻の最大のパートナー! 3面
- 学会スケジュール 5・8・13・16・18面
- 医療と法律問題 15面
- WLB連載 15面
- 今月の一冊 20面

九州初

原看護専門学校

働きながら看護師目指す

坐忘抄

今回の特集は、
医師不足偏在へき地医療を
支える医師不足偏在へき地医療を
直面しているのは広く捉
えれば、地域格差の問題で
あり、すなわち医師の偏
在と診療科の偏りだ▼特
集で取り上げた香川県立
中央病院の岩井医師は、
べき地医療の衰退はべき
地に医師を送る中核病院
の疲弊があると嘆んでい
る。中核病院に人が集
まるない状況がへき地診
療所の閉鎖につながり、
地域住民の健康度に影響
する。では、中核病院に医
師を集めるためにはな
ど、厚生労働省医政局によ
り、3年課程定時制があ
る。3年課程定時制があ
る学校は、2016年度時
点で全国に6校。北海道
内に1校、神奈川県1校、
石川県1校、愛知県2校、
広島県1校。

が経済的理由で学業を
継続できなくなっていた。

東京大学大学院教育学
研究科大学経営・政策研
究センターの「高校生の進
路についての調査(2000
年・2006年実施)」によ
り、家庭の年収によって大
学進学率に差が出ること
がわかつている。

同学校は、「経済的理由
だけでは看護師になる夢を
断念する人が出るのは本
がわかつている。

5年・2006年実施で
は、家庭の年収によって大
学進学率に差が出ること
がわかつている。

同学校は、「経済的理由
だけでは看護師になる夢を
断念する人が出るのは本
がわかつている。